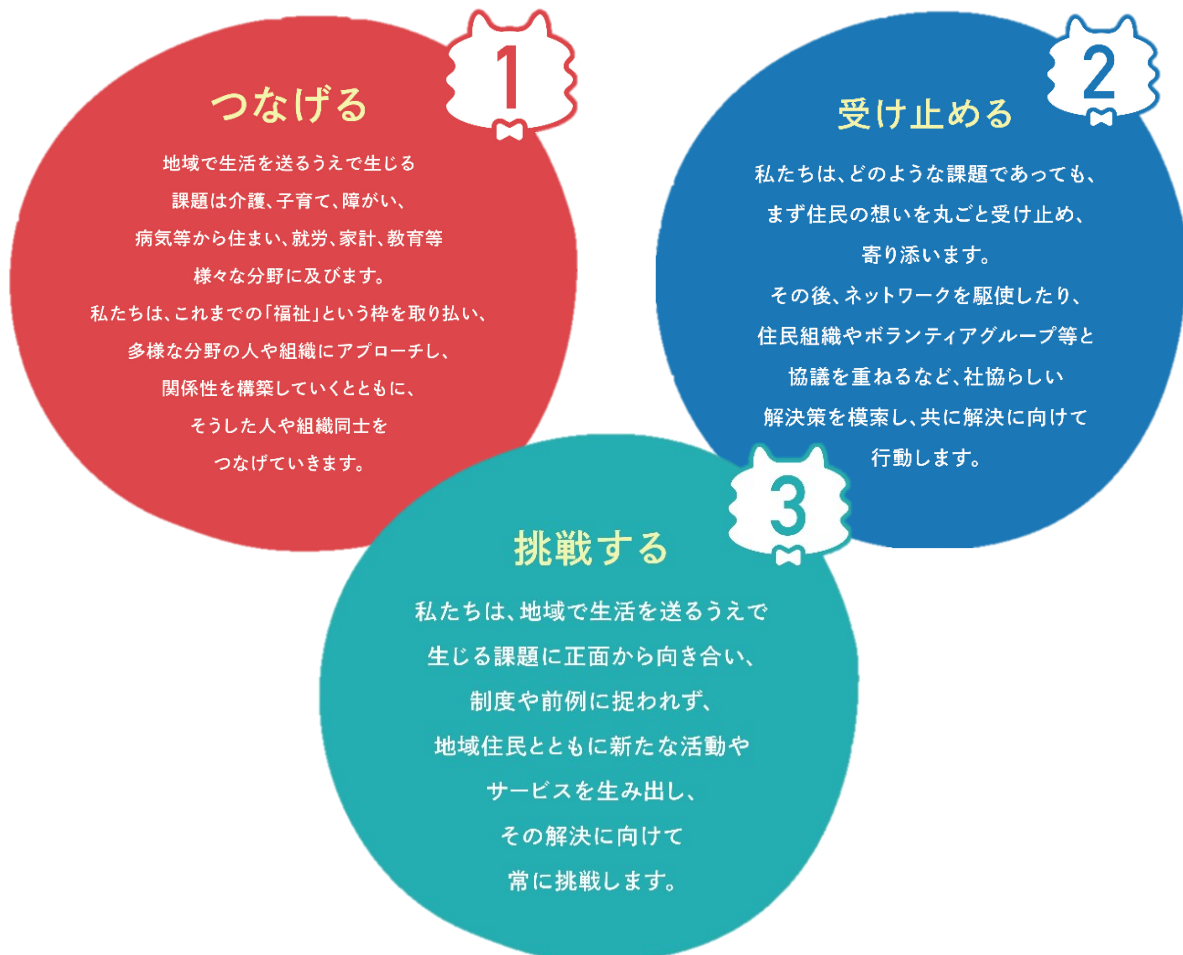


令和 6 年度 社会福祉法人奥出雲町社会福祉協議会 事業報告書

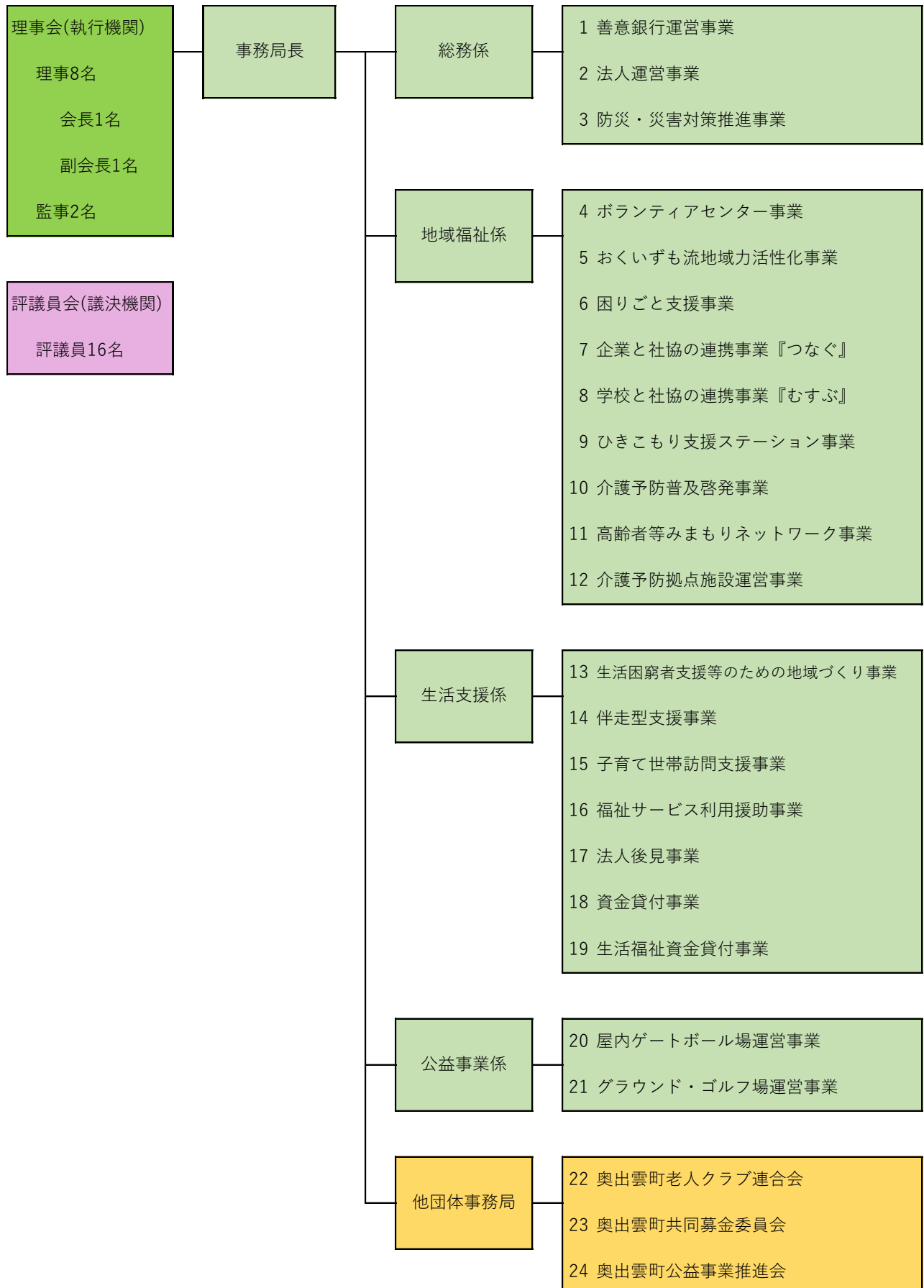
本町においては、人口減少と高齢化の一途を辿る一方、生活不安や経済情勢などを要因とする生活困窮やひきこもりなど地域を取り巻く生活課題は深刻化また複雑化しています。加えて近年頻発する自然災害や生活必需品を含む多くの物品の物価高騰など、住民の暮らしに大きな影響を与えており、今をどう生きるか、将来にどのような町を繋いでいくか、という点において地域福祉に対するニーズがますます増大しています。そのような状況においては、これまでの公的サービスだけでなく地域でお互いに支え合い助け合う「地域共生社会」の実現を図っていくことが必要不可欠になりました。そこで本会では、制度や分野ごとの「縦割り」や「支え手・受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が我が事として参画し、人と人、人と資源が、世代や分野を超えて丸ごとつながる仕掛けづくりに挑戦し、地域の企業や学校なども巻き込んだ「つながりの構築」に取り組みました。

また、本会は住民主体を基本に地域福祉を推進してきましたが、「社協」という団体の認知度の低さ故に本来様々なサービスと繋がるはずのニーズや地域資源が見過ごされている現状があることが分かり、それは全国の社協において共通の課題であるため、令和 4 年度より県内全ての社協で取り組む「しまねオール社協ブランディング事業」における広報戦略を強化し、一人でも多くの住民と繋がるための挑戦を継続して行いました。

以上、今年度は各種事業を推進するための基盤として、本会の社会的価値や認知度を高め、地域住民をはじめ多分野からの信頼を深めると共に様々なつながりを構築することで、「支え合い、助け合い、安心して暮らせるまちづくり」を目指す取り組みを行いました。



【組織体制・実施事業一覧】



1 善意銀行運営事業

町民の皆様からいただいた浄財を適切に管理し、地域福祉の増進に努めました。

(1) 積立金管理運用検討委員会

(ア) 仮称健康福祉会館建設積立基金の管理運用

- ・今年度積立額 2,000,000 円（基金総額 106,000,000 円）
- ・令和元年度に開催された本委員会において「仮称健康福祉会館建設については町の計画等との整合性を図りながら検討すべき」との共通認識を町と本会において確認した。一方、本年度の 2 月には、町から本会の仁多事務所(介護予防拠点施設)の取り扱いについて、令和 8 年度に現在の老人保健施設と共に解体が決定したため、令和 7 年度中に退居するよう通告があった。

(イ) アコ基金の管理運用

- ・毎月 10,000 円（基金総額 1,650,000 円） ※取崩履歴：平成 21 年度

(2) 寄付金や寄付物品の募集と有効活用

(ア) 寄付金の受付と各事業への充当

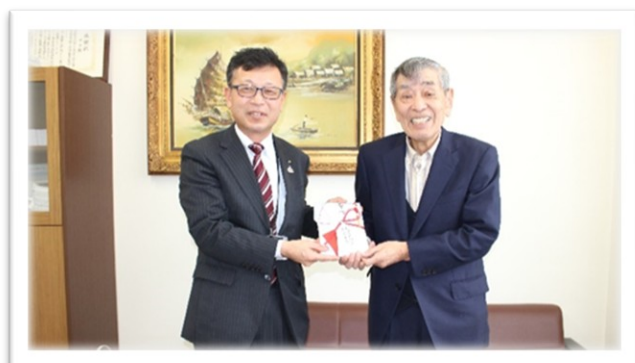
- ・一般寄付金の受付 192 件 総額 4,239,110 円
- ・各事業への充当 総額 2,369,828 円

(イ) 寄付物品の受付と有効活用

物品名	件数	活用方法
ベッド	1 件	困りごと支援事業における無料貸出福祉用具として活用
車いす	1 件	介護サービス事業所へ譲渡
軽自動車	1 件	地域福祉活動における活動車として活用
大人用紙おむつ	1 件	介護サービス事業所へ譲渡
グラウンド・ゴルフ用品	1 件	おくいずも流地域力活性化事業における無料貸出軽スポーツ用具として活用
使用済み切手	4 件	発展途上国の子供のワクチン寄付として活用

(ウ) 生活困窮者のための食品等の受付と有効活用

物品名	件数	活用方法
米及び米券	3 件	困りごと支援事業における生活困窮世帯に対する無償提供品として活用
食料品	1 件	困りごと支援事業における生活困窮世帯に対する無償提供品として活用



2 法人運営事業

9,102,716 円

地域福祉を推進する民間の組織として活動するための自立した組織基盤の構築と財源の確保、また公正な経営を行うことに努めました。

(1) 理事会等の運営

(ア)理事会

年月日	決議事項
6.6.3	議第1号 令和5年度事業報告について 議第2号 令和5年度社会福祉事業区分決算について 議第3号 令和5年度公益事業区分決算について 議第4号 令和6年度社会福祉事業区分補正予算(第1回)について 議第5号 令和6年度公益事業区分補正予算(第1回)について 議第6号 理事選任候補者の選出について 議第7号 評議員選任候補者の選出について 議第8号 評議員選任・解任委員会の招集について 議第9号 評議員会の招集について
6.6.19	議第1号 副会長の選任について 議第2号 任期満了による評議員選任・解任委員の選任について
7.3.7	議第1号 就業規則の改正について 議第2号 嘱託職員就業規則の改正について 議第3号 育児・介護休業等に関する規則の改正について 議第4号 令和6年度社会福祉事業区分補正予算(第2回)について 議第5号 第4期奥出雲町地域福祉活動計画の策定について 議第6号 令和7年度事業計画について 議第7号 令和7年度社会福祉事業区分当初予算について 議第8号 令和7年度公益事業区分当初予算について 議第9号 評議員会の招集について

(イ)評議員会

年月日	決議事項
6.6.18	議第1号 令和5年度事業報告について 議第2号 令和5年度社会福祉事業区分決算について 議第3号 令和5年度公益事業区分決算について 議第4号 令和6年度社会福祉事業区分補正予算(第1回)について 議第5号 令和6年度公益事業区分補正予算(第1回)について 議第6号 理事の選任について
7.3.21	議第1号 令和6年度社会福祉事業区分補正予算(第2回)について 議第2号 令和7年度事業計画について 議第3号 令和7年度社会福祉事業区分当初予算について 議第4号 令和7年度公益事業区分当初予算について

(ウ)監査会

年月日	監査事項
6.5.23	令和5年度の理事の職務執行状況 ①事業報告等の監査 ②計算関係書類及び財産目録の監査

(エ)内部経理監査会

年月日	監査事項
6.10.25	会計処理等に関する監査

(オ)評議員選任・解任委員会

年月日	決議事項
6.6.18	評議員の選任について

(2) 社協会員の募集と加入促進

- ・一般会員 1世帯あたり 年額 800 円× 3,313 世帯=2,650,400 円
その他= 11,600 円
- ・賛助会員 1人あたり 年額 2,000 円× 12 人 = 24,000 円
- ・特別会員 1口あたり 年額 5,000 円× 0 口 = 0 円

(3) 財務運営と管理

- ・町内金融機関との取引による財務管理 (※財産目録に表示)

(4) 財源確保に向けた体制づくり

(ア) 行政とのパートナーシップ構築と連携

連携・協議・検討テーマ	担当課
奥出雲町地域福祉計画並びに奥出雲町地域福活動計画について	福祉事務所
高齢者等みまもりネットワーク事業に係る苦情対応について	
高齢者等みまもりネットワーク事業に係る情報漏洩について	
高齢者等みまもりネットワーク事業の業務内容の転換について	
ひきこもり支援ステーション事業の業務内容について	
地域で暮らす障がいがある方の居場所づくりについて	
本会事務所の移転について	
屋内ゲートボール場すぱーく仁多の修繕等について	
介護予防拠点施設の修繕等について	
本会正規職員の人件費財源について	
本会仮称健康福祉会館建設積立基金の取り扱いについて	
災害対応マニュアルの改正について	
成年後見制度利用促進事業について	
包括的支援体制整備に係るヒアリング調査について	
新規受託事業「子育て世帯訪問支援事業」について	こども家庭支援課
要保護児童対策地域協議会に係る対象世帯について	
農村型地域運営組織(農村 RMO)について	農業振興課
鳥インフルエンザ発生時の施設取り扱いについて	

身寄りのない高齢者の死後事務について	町民課
災害発生時の業務継続計画について	総務課
災害発生時の資機材の提供について	
本会災害対応マニュアルの改正について	
小さな拠点づくり活動に係る地域づくりについて	政策企画課
本会災害対応マニュアルの改正について	
認知症カフェ「オレンジカフェ」の継承について	健康福祉課
介護予防普及啓発事業「フレイル予防塾」について	
成年後見制度利用促進事業について	

(イ) 新規事業の模索

- ・中国山地県境 4 市町社協情報交換会における財源確保に関する情報共有と意見交換

【日 時】令和 6 年 11 月 21 日(木)

【会 場】松江テルサ

【参加者】各社協(新見市・庄原市・
日南町・奥出雲町)より 13 名



(5) リスク管理やコンプライアンスに関する管理体制の整備

(ア) 苦情解決に関する体制強化

- ・苦情の受付と処理 (1 件)

【内 容】高齢者等みまもりネットワーク事業(コールセンター)担当職員の対応について

【受付者】苦情受付担当者/小櫻美可子

- ・申立人からの聴き取り
- ・当該職員への事実関係の確認

【責任者】苦情解決責任者/田食喜美子

- ・苦情内容に関する全職員への周知
- ・苦情解決に向けた全職員への対応指導

【報 告】委託元である奥出雲町(福祉事務所)への報告並びに改善策協議の申入れ

(イ) 個人情報保護の徹底と理解促進

- ・個人情報の漏洩と処理 (1 件)

【内 容】高齢者等みまもりネットワーク事業(コールセンター)における個人情報漏洩について

【原 因】リスク管理指導の不徹底、当該職員のネット犯罪に関する知識の不足

【報 告】委託元である奥出雲町(福祉事務所)への業務改善報告書の提出

【措 置】再発防止に向けた取組

- ・全職員を対象とした「ネット犯罪に関する研修会」の開催
- ・委託元である奥出雲町(福祉事務所)へ改善策協議の申入れ

(6) 計画的な採用、異動、人事評価等の人事管理

(ア) 人事評価規程に基づく個人面談の実施と職員育成

- ・目標設定面談の実施（4月）
- ・中間面談の実施（10月）
- ・自己評価面談の実施（2月）
- ・フィードバック面談の実施（3月）

(イ) 職員の適正や意思を反映した職員配置

- ・各係を横断する職員配置と業務分担

(7) 研修・能力開発等の計画的な人材育成

(ア) 職員育成に関する規程に基づく各種研修会への参加（OFF-JT）

- ・リスクマネジメント研修【管理職コース】（職員2名）
- ・リスクマネジメント研修【一般職コース】（職員1名）
- ・メンタルヘルス研修【管理職コース】（職員1名）
- ・メンタルヘルス研修【一般職コース】（職員1名）
- ・福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程【初任者コース】（職員1名）
- ・社協職員基礎研修（職員1名）
- ・経営マネジメント研修会（職員1名）
- ・安全運転管理者講習会（職員1名）
- ・労務管理研修会（職員2名）
- ・災害ケースマネジメント研修（職員4名）
- ・災害ボランティアセンター運営マネジメント研修会（職員2名）

(イ) その他専門知識習得並びに能力開発のための研修会への参加

- ・コミュニティソーシャルワーク実践力強化研修会（職員1名）
- ・人権権利擁護研修会（職員1名）
- ・広報誌作成講座（職員1名）
- ・雲南圏域ゲートキーパー養成研修会（職員2名）
- ・雲南圏域ゲートキーパーフォローアップ研修会（職員1名）
- ・自死遺族支援研修会（職員1名）
- ・しまねDWAT登録者研修会（職員1名）
- ・あいサポートメッセンジャー養成研修会（職員1名）
- ・要保護児童対策地域協議会研修会（職員2名）
- ・キャッシュレス決済勉強会（職員2名）
- ・生活困窮者自立相談支援課題別勉強会（職員1名）
- ・ひきこもり研修会（職員1名）
- ・日常生活自立支援事業責任者研修会（職員1名）
- ・日常生活自立支援事業専門員研修会（職員1名）
- ・介護の入門的研修会（職員1名）
- ・サロンのお手伝いさん養成講座（職員1名）

(8) 労働法令等に基づいた労務管理

(ア) 法令等に基づく協定の締結と届け出

- ・時間外休日労働に関する労使間の協定(36 協定)締結と労働基準監督署への届け出
- ・給与規程の変更に伴う労働基準監督署への届け出

(イ) 職員の健康管理

- ・職員に対する生活習慣病予防健診の実施
- ・管理職員と一般職員の定期面談の実施
- ・カスタマーハラスメントに対する対応協議並びに職員間ケース共有の実施

(ウ)働きやすい職場づくりの推進

- ・有給休暇取得の促進
- ・イクボス宣言の周知
- ・おくいずも子育て応援事業所認定
- ・しまねいきいき職場宣言認定

(9) 所轄庁への届け出や対外的な法的対応を行う業務

(ア)社会福祉法に基づく情報公開

- ・財務諸表電子開示システム、本会広報誌、本会ホームページ等による情報公開

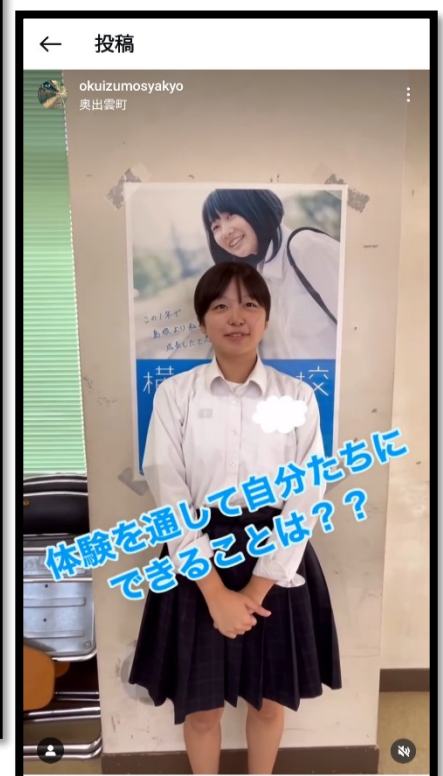
(イ)組合等登記令に基づく登記

- ・令和 5 年度決算に伴う資産総額変更登記

(10) 多様な媒体を利用した広報活動

(ア)島根県内 20 社協との連携による「オールしまね社協ブランド」の構築

- ・「島根の社協活動情報サイト“しまそこ”」への記事投稿 (14 件)
- ・インスタグラムでの情報発信 (投稿 57 件、ストーリー127 件)



- (イ)「社協紹介番組・動画」の制作
 - ・ジョーホー奥出雲での番組制作
 - ・株式会社 COCOMO での動画制作

(ウ)社協紹介チラシの作成

- ・自治会回覧依頼
- ・アウトリーチにおける宣材としての利用



(11) 第 4 期奥出雲町地域福祉活動計画の策定

(ア)第 3 期奥出雲町地域福祉計画との一体的な策定に向けた協議

- ・第 2 期奥出雲町地域福祉計画並びに第 3 期奥出雲町地域福祉活動計画の評価の実施
- ・策定委員会の開催(全 4 回)並びにパブリックコメントの実施

(12) 社会福祉法人等の連携による地域貢献活動の実施

(ア)社会福祉法人等の連携による奥出雲町公益事業推進会の運営

社会福祉法人仁多福祉会・社会福祉法人よこた福祉会・
NPO 法人ともに・有限会社クオリティライフ・
有限会社ブルーム・未来プロジェクト株式会社・
社会福祉法人奥出雲町社会福祉協議会

(イ)認知症カフェ「オレンジカフェ奥出雲」の開催 (0 回)

(ウ)奥出雲町公益事業推進会の解散(令和 6 年 7 月)

並びに帰属財産の清算



(13) 他機関等との共同による取組

- ・令和 7 年度島根県の社会福祉施策への提言(要望事項)提案書の提出
 - 【年 月 日】令和 6 年 6 月 20 日
 - 【提 出 先】島根県社会福祉協議会
 - 【テ ー マ】地域生活課題への対応
 - 【提案内容】介護報酬の基本単価引上げに関する国への要望について
 - 【提 出 者】雲南市社会福祉協議会・飯南町社会福祉協議会・奥出雲町社会福祉協議会
- ・令和 6 年度介護保険のしくみ周知番組「みんなの安心介護保険」の制作
 - 【年 月 日】令和 6 年 7 月
 - 【主 催】雲南広域連合(依頼元：奥出雲町役場健康福祉課)
 - 【協 力】奥出雲町社会福祉協議会
- ・「令和 6 年度戦没者追悼式」の挙行
 - 【年 月 日】令和 6 年 9 月 14 日
 - 【会 場】カルチャープラザ仁多 大集会室
 - 【参列者数】72 名
 - 【主 催】奥出雲町・奥出雲町社会福祉協議会
- ・「第 57 回雲南障がい者スポーツ大会」の開催
 - 【年 月 日】令和 6 年 9 月 19 日
 - 【会 場】三刀屋文化体育館アスパル

【参加者】51名（※奥出雲町からの参加者はなし）

【主催】雲南障がい者スポーツ協会

【共催】雲南市・飯南町・奥出雲町・雲南広域福祉会

【後援】奥出雲町社会福祉協議会ほか

・「令和6年度介護の入門的研修」の実施

【年月日】令和6年10月18日～10月20日

【主催】雲南市社会福祉協議会

【後援】飯南町社会福祉協議会・奥出雲町社会福祉協議会

・「福祉・保育のJOBフェスタ2024」の開催

【年月日】令和6年11月30日

【主催】島根県社会福祉協議会

【協力】奥出雲町社会福祉協議会ほか

・「更生保護支援ネットワーク会議」の発足

【年月日】令和6年12月10日

【主催】雲南地区保護司会

【関係機関】民生児童委員協議会・松江保護観察所・

役場町民課・福祉事務所・奥出雲町社会福祉協議会

・奥出雲町子育て世帯訪問支援事業の利用対象世帯に関する要望書の提出

【年月日】令和6年12月12日

【提出先】奥出雲町役場こども家庭支援課

【要望内容】要保護児童対策調整機関としての指導について

【提出者】仁多福祉会けやきの郷・奥出雲町社会福祉協議会

・「出張シニアスマホ教室」の開催

【年月日】令和7年2月14日・25日

【会場】奥出雲町社会福祉協議会

【参加者】11名

【主催】奥出雲町役場総務課

【運営】NTTdocomo

【後援】奥出雲町社会福祉協議会



(14) 他団体等が主催する研修会等への講師または実践報告者の派遣

・阿井地区地域づくり委員会における研修講師

【派遣講師】古井将貴

【年月日】令和6年7月28日

【会場】阿井小学校

【参加者】60名

【テーマ】防災研修会2024

「知る・学ぶ・体験する」



・福祉教育実践研修会における実践報告

【派遣講師】中村望生

【年 月 日】令和 6 年 8 月 9 日

【会 場】パルメイト出雲

【参 加 者】18 名

【テ ー マ】ふくしの学び合い実践報告について



・奥出雲町療法士会における研修講師

【派遣講師】古井将貴

【年 月 日】令和 6 年 8 月 22 日

【会 場】奥出雲病院 リハビリ室

【参 加 者】12 名

【テ ー マ】地域のことを考えるための社会福祉協議会について教えて！

・社会福祉法人雲南広域福祉会役員研修会における研修講師

【派遣講師】田食喜美子

【年 月 日】令和 6 年 11 月 22 日

【会 場】奥出雲町社会福祉協議会 研修室

【参 加 者】15 名

【テ ー マ】先駆的事業「企業と社協の連携事業つなぐ」の取り組みについて

・雲見の里いいし(雲南市)高齢者クラブ研修会における研修講師

【派遣講師】中村望生・加村一樹

【年 月 日】令和 6 年 12 月 20 日

【会 場】奥出雲町社会福祉協議会 研修室

【参 加 者】31 名

【テ ー マ】集いの場の効果&レクリエーションの進め方について

・地域共生社会推進会議分科会における実践報告

【派遣講師】小櫻美可子

【年 月 日】令和 7 年 1 月 29 日

【会 場】島根県民会館 3 階 大会議室

【参 加 者】29 名

【テ ー マ】企業×社協 連携したひきこもり支援について

(15) 他団体等からの事業提案受付と関係性の構築

- ・「IT を通じた子供の居場所づくりについて」・・・株式会社 cocomo
- ・「弁護士による法律勉強会について」・・・日本司法支援センター法テラス
- ・「くにびき学園の生徒拡充について」・・・くにびき学園
- ・「アコさん番組制作について」・・・NHK 第 1 制作センター新領域ディレクター
- ・「しまそこによる広報活動について」・・・福祉新聞
- ・「冬季のボランティア活動について」・・・仁多郡森林組合
- ・「こども食堂について」・・・亀嵩地区住民有志
- ・「平和の語り部事業について」・・・仁多郡遺族連合会

(16) 関係機関が主催する会議等への出席

(ア) 会長が出席する会議等

- ・ 地域包括支援センター運営協議会
- ・ 奥出雲町ケーブルテレビ施設運営協議会
- ・ 社会福祉法人雲南広域福祉会政策運営会議並びに理事会
- ・ 社会福祉法人島根県共同募金会評議員会

(イ) 事務局長が出席する会議等

- ・ 奥出雲町民生児童委員協議会常任委員会定例会
- ・ 奥出雲町民生児童委員協議会総会
- ・ 奥出雲町民生児童委員協議会地域福祉部視察研修
- ・ 奥出雲町老人福祉計画中間評価委員会
- ・ 奥出雲町縁むすびネットワーク協議会監査会
- ・ 奥出雲町地域公共交通会議
- ・ 奥出雲町立地適正化計画策定検討委員会
- ・ 奥出雲町認知症支援対策協議会
- ・ 雲南圏域障がい者総合支援協議会奥出雲町地域部会
- ・ 青少年育成奥出雲町民会議
- ・ 奥出雲町人権教育推進協議会
- ・ 奥出雲町ケーブルテレビ放送番組審議会
- ・ 社会福祉法人よこた福祉会評議員会
- ・ 地域密着型特別養護老人ホームあいサンホーム運営推進会議
- ・ グループホームよこたの郷運営推進会議
- ・ 雲南障がい者スポーツ協会理事会
- ・ 島根リハビリテーション学院学校評価委員会
- ・ 島根県地域福祉推進委員会
- ・ 島根県ボランティア活動振興センター運営委員会

3 防災・災害対策推進事業

388,712 円

奥出雲町地域防災計画並びに本会災害対応マニュアルをもとに、関係機関等と協力しながらそれぞれの役割を共有し災害発生時に迅速に対応できる体制づくりに努めました。

(1) 組織内部での災害対策

(2) 防災意識の啓発

(ア) 災害ボランティアセンター立上訓練の実施(仁多・横田ライオンズクラブ共催)

【日 時】 令和 6 年 11 月 17 日(日)9:00～12:00 【会場】 あいコミュニティセンター

【参加者】 町内外から 48 名 【講師】 田食喜美子・古井将貴



(イ)「福祉=防災」の視点に立った住民の自助共助の意識啓発

・「ふくし防災研修会」の開催

【日 時】令和6年4月20日(土)10:00～11:00 【会場】カルチャープラザ仁多

【参加者】福祉委員・民生児童委員 104名

【講 師】島根県中山間地域研究センター 主任研究員/東良太氏

三沢地区小さな拠点づくり組織 地域づくり支援員/落合孝行氏



(3) 災害ボランティアの登録推進

(ア)災害ボランティアの募集と事前登録の推進

・災害ボランティアセンター立上訓練参加者に対する啓発

・ICT(キントーン)システムを活用したボランティア登録の推進に係る準備

(イ)災害ボランティアセンター運営スタッフネットワークの登録推進

・災害ボランティアセンター立上訓練参加者に対する登録依頼 (新規登録者 18名)

・「奥出雲町災害ボランティアセンター運営スタッフネットワーク“DVAT”」の発足

(年度末登録者数 30名)



(4) 災害対応マニュアルの見直し

(ア)災害対応マニュアル検討委員会の開催

【年月日】令和7年1月20日

【委 員】役場総務課課長代理、政策企画課課長補佐、福祉事務所所長補佐、
本会理事4名

【アドバイザー】日野ボランティアネットワーク代表/山下弘彦氏

島根県社会福祉協議会地域福祉部部長代理/松崎志保氏

島根県中山間地域研修センター主任研究員/東良太氏

(イ)災害時における業務継続計画(BCP)の検討

・災害対応マニュアル最新版に BCP を包含

(5) 地域防災関係機関等との連携

(ア)「奥出雲町災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定」に基づく業務継続計画(BCP)策定にかかる被災想定との共有 (役場総務課)

(イ)ライオンズクラブアラート委員会との情報交換会の開催

【年月日】令和6年7月10日

【内 容】令和6年度災害ボランティアセンター立上訓練について

(ウ)新規災害時協定の締結 (今年度実績なし)

(6) 他市町村災害ボランティアセンターへの職員派遣 (今年度実績なし)

(7) 中国山地県境4市町社会福祉協議会との連携

(ア)中国山地県境4市町(新見市・庄原市・日南町・奥出雲町)社協情報交換会の開催

・第1回(幹事社協/庄原市)

【年月日】令和6年4月23日 【会場】奥出雲町社会福祉協議会横田事務所

【参加者】4市町(新見市・庄原市・日南町・奥出雲町)社協より11名

【テーマ】①各市町村で取り組んでいる地域づくりの進め方やそのためのネットワーク構築に関する現状や課題について
②災害時における県境を越えた相互支援について

・第2回(幹事社協/奥出雲町)

【年月日】令和6年11月21日 【会場】松江テルサ

【参加者】4市町社協並びに島根県社協より13名

【テーマ】①「福祉=防災」災害時における
4社協連携の可能性について
②孤立する地域住民への
アプローチについて



4 ボランティアセンター事業

886,581 円

ボランティアに関する理解と関心を深めるとともにボランティアの育成を図り、助け合いの輪を広げる活動を行いました。

(1) ボランティア活動に関する調査研究

(ア)ボランティア受入に関するアンケートの実施と情報提供

- ・介護サービス事業所8施設、障がいサービス事業所3施設、幼稚園7園より回答
- ・本会広報誌、ホームページ、SNS等によるボランティア受入情報の発信

(イ)ボランティア利用に関する情報提供

- ・傾聴ボランティア利用に関する情報発信

(ウ)ボランティア活動のマッチングの実施

- ・除雪ボランティア活動希望の受付(1団体)
⇒福祉事務所が実施する「たすけあい除雪」等との整合性を整理するため協議実施
- ・職員による地域貢献のためのボランティア活動希望の受付(1団体)
⇒役場政策企画課並びに出雲横田駅等が実施する駅周辺での環境整備活動を紹介

- ・サービス利用者のためのパソコン講師派遣の受付(1 団体)
⇒障がい者就業生活支援センター「アーチ」が実施する講師派遣事業を紹介
- ・在学生によるボランティア活動希望の受付(1 校)
⇒町内ボランティア活動受入先の紹介

(2) ボランティア活動の普及啓発

(ア) ボランティア保険の加入促進

保険の種類	団体	個人	加入者合計人数
ボランティア活動保険	19	4	437
ボランティア行事用保険	1	—	251
ボランティア送迎保険	5	0	29
合計	25	4	717

(イ) 本会広報誌「ふくしの窓」の発行 (年 6 回)

(ウ) 老人クラブ等との連携による高齢者によるボランティア活動の推進

- ・ゴミの不法投棄監視活動の実施
- ・公民館、コミュニティセンター、神社等の草刈り作業の実施
- ・公民館の庭木の剪定作業の実施
- ・公民館等の花壇の手入れの実施
- ・反射材着用推進活動の実施

(3) ボランティア活動支援事業の実施

(ア) サロンサポーターの活動支援 (登録者 20 名)

- ・自治会等で実施する小地域サロン等へのサロンサポーターの派遣

【派遣依頼数】40 件 【サポーター派遣数】延べ 23 名

(イ) ひきこもりサポーターの活動支援 (登録者 23 名)

- ・企業と社協の連携事業『つなぐ』へのひきこもりサポーターの派遣

【活動日数】176 日 【サポーター派遣数】延べ 251 名

(ウ) 傾聴ボランティアの活動支援 (登録者 4 名)

- ・独居高齢者等の自宅への傾聴ボランティアの派遣

【利用者】6 名 【延べ活動回数】69 回

5 おくいずも流地域力活性化事業

2,981,591 円

住民ひとりとひとりが安心して生活できる地域をつくるため、向こう三軒両隣精神を土台とする地域社会の仕組みを再建し、住民が主体的に自らの力を集結した地域力の醸成に努めました。

(1) 各地区福祉振興協議会、地区振興会の活動支援と協働

(ア) 活動費の助成(200,000 円×9 地区) ※赤い羽根共同募金による助成

(イ) 小さな拠点づくり組織等関係団体との連携の推進

- ・組織の一本化等相談の受付並びに役場への提案

(2) 福祉委員活動の活性化の推進

(ア)「福祉＝防災」の視点に立った小地域福祉活動の推進

- ・民生児童委員並びに福祉委員の地区別意見交換会の開催

【日 時】令和 6 年 4 月 20 日(土)11:00～11:30 【会場】カルチャープラザ仁多

(イ)ふくし防災研修会の開催（※再掲）

- ・民生児童委員並びに福祉委員を対象とした研修会の開催

【日 時】令和 6 年 4 月 20 日(土)10:00～11:00 【会場】カルチャープラザ仁多

【参加者】福祉委員・民生児童委員 104 名

【講 師】島根県中山間地域研究センター 主任研究員/東良太氏

三沢地区小さな拠点づくり組織 地域づくり支援員/落合孝行氏

(3) 地域住民同士の繋がり強化

(ア)新規小地域サロンの立ち上げ支援（今年度実績なし）

(イ)健康ベタUNK大会や軽スポーツ大会を通した住民同士の交流促進

- ・第 20 回社協会長杯奥出雲町健康ベタUNK大会の開催

【日 時】令和 6 年 10 月 26 日(土)9:00～15:30 【会場】すぱーく仁多

【参加者】35 チーム(109 名) ※過去最多

- ・第 17 回奥出雲町軽スポーツ交流大会の開催

【日 時】令和 7 年 2 月 18 日(火)13:00～16:00 【会場】町民体育館

【参加者】80 名 ※過去最多

(ウ)軽スポーツ用品の貸出

- ・自治会、学校、親子活動等に対する用具の貸出（延べ 140 件）

(4) 当事者組織の活動支援

(ア)活動費の助成

- ・奥出雲町老人クラブ連合会(※事務局：社協) 100,000 円

- ・奥出雲町精神障がい者家族会 40,000 円

- ・島根県断酒新生会仁多支部 20,000 円

- ・仁多郡遺族連合会 30,000 円

(イ)県・雲南圏域における各種行事等への協力

- ・雲南障がい者スポーツ大会(主催：雲南障がい者スポーツ協会)への職員派遣

- ・自死遺族グループ「虹の会」講演会(主催：雲南保健所)の後援

(5) 障がいに関する理解促進

(ア)学校並びに企業等における「あいサポーター研修」への講師派遣

- ・小学校 3 校でのあいサポーター研修の実施（受講者数 43 名）

(イ)改正障害者差別解消法の施行に伴う企業等への情報提供

- ・町内企業へのパンフレット送付による情報提供



(6) 自死予防対策の推進

(ア)ゲートキーパー養成研修会の実施 (※役場健康福祉課主催による開催)

(7) 福祉教育の推進

(ア)「社協のふくし出前講座」の実施

- ・高齢者疑似体験 (延べ3校、0企業、延べ38名受講)
- ・車いす体験 (延べ4校、0企業、延べ60名受講)
- ・アイマスク体験 (延べ3校、0企業、延べ43名受講)
- ・パラスポーツ体験 (延べ1校、0企業、延べ16名受講)
- ・「福祉の仕事について」(延べ1校、0企業、延べ14名受講)



(イ)他団体等が主催する福祉研修会への職員派遣 (※再掲)

- ・阿井地区地域づくり委員会における研修講師

【派遣講師】古井将貴 【年 月 日】令和6年7月28日

【会 場】阿井小学校 【参 加 者】60名

【テ ー マ】防災研修会2024「知る・学ぶ・体験する」

- ・奥出雲町療法士会における研修講師

【派遣講師】古井将貴 【年 月 日】令和6年8月22日

【会 場】奥出雲病院 【参 加 者】12名

【テ ー マ】地域のことを考えるための社会福祉協議会について教えて！

(8)「地域共生社会創造助成事業(県社協事業)」の推進

(ア)応募団体への相談支援

【団体名】地域づくりフォーラム馬木 【助成額】170,280円

【事業名】馬木地区の賑わい創出とみんなが集える場所としての喫茶サロンの開催

6 困りごとと支援事業

146,607円

様々な困りごとを抱える方のお手伝いをすることにより、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援しました。

(1) 福祉用具の無料貸出とリサイクルの実施

(ア)車いす・ベッドの短期貸出

- ・車いす(24件) ベッド(5件)

(イ)寄付物品の修繕とリサイクル (※再掲)

- ・寄付受付 (車いす1台、ベッド1台)

(2) 出張なんでも相談所の開設

(ア)人権擁護委員、民生児童委員、行政書士による相談（4回）

種別	農業	相続	障がい	土地	近隣トラブル	行政への苦情	合計
件数	1	1	1	1	2	4	10

(イ)弁護士による無料法律相談（2回）

種別	借金	相続	近隣トラブル	その他	合計
件数	1	4	1	1	7

(3) 職員による窓口相談（随時）

(ア)窓口、電話、LINE チャット相談の対応

種別	資金貸付	生活困窮	各種制度	相続	近隣トラブル	おたすけフード	労働問題
件数	22	23	16	2	22	23	7
種別	就職・就学	病気	障がい	学校	借金	希死念慮	家庭内問題
件数	25	21	5	3	4	2	11
種別	虐待	役場への苦情	税金	住居	土地	その他	合計
件数	7	21	2	10	2	19	247

(4) 「おたすけフード基金」の管理活用

(ア)食品等の寄付募集と受付（※再掲）

- ・ 本会広報誌並びに SNS による募集と受付

物品名	件数	活用方法
米及び米券	3 件	困りごと支援事業における生活困窮世帯に対する無償提供品として活用
食料品	1 件	困りごと支援事業における生活困窮世帯に対する無償提供品として活用

(イ) 「おたすけフード基金」を活用した生活困窮世帯等に対するおたすけフードの提供

- ・ おたすけフード基金から 32,827 円分の食料品を購入。
- ・ 生活困窮世帯に対して無償提供を実施。（延べ 33 世帯）

7 企業と社協の連携事業『つなぐ』

965,751 円

ひきこもりの状態にある方や適切な支援機関との関りが無い方、またそのご家族に対する相談支援を行うとともに、町内の企業と連携した就労体験の場の提供を行うことにより、対象者と地域との繋がりを適切に確保し、地域全体で支える基盤づくりに努めました。

(1) ひきこもり当事者やその家族に対する相談支援と見守り

(ア)当事者に対する支援

- ・ 面談、電話、LINE 等による相談対応（延べ 221 名）
- ・ 同行支援、居場所の提供等による支援（延べ 836 名）
- ・ 「つなぐ支援チーム会議」の開催（延べ 10 回）

・「つなぐステップアップ会議」の開催（延べ 7 回）

(イ) 当事者家族等に対する支援

- ・面談、電話、LINE 等による相談対応（延べ 57 名）
- ・同行支援による支援（延べ 59 名）

(ウ) つなぐサポーター並びに関係機関等との連携

- ・つなぐサポーターとの連携による当事者世帯への訪問（延べ 79 回）
- ・関係機関、民生児童委員等との連携（延べ 231 回）

(2) 登録当事者（つなぐメンバー 7 名）に対する社会活動体験の実施

(ア) つなぐ協力企業等での就労体験の実施

企業・団体名	活動内容	活動日数	活動時間	延べ人数
(株)サンエイト	トウガラシのヘタ取りほか	42	206	88
(株)丸共	リサイクル品の分別ほか	10	19.5	11
(農組)中国牧場	子牛の授乳ほか	12	26	13
仁多興産(有)	看板製作	0	0	0
やまなみファーム	馬・小動物の世話ほか	16	38.5	21
社協その他	すばーく仁多清掃ほか	96	179	118
合計		176	469	251

(イ) つなぐメンバーとつなぐサポーターとの社会的関係性の構築

- ・つなぐサポーター登録者 24 名（実活動者数 16 名）
- ・つなぐメンバー並びにつなぐサポーター共同の活動実施
（延べメンバー数 251 名、延べサポーター数 251 名）



(3) 一般就労または他のサービス利用に向けた支援と卒業後の継続的な見守りの実施

(ア) 一般就労に向けたハローワーク等への同行支援

- ・役場税務課、町民課、健康福祉課への同行支援（延べ 4 名）

(イ) 保健師等との連携による受診が必要な対象者に対する通院支援

- ・就労前の準備としての健康診断受診の推奨（延べ 2 名）

(ウ) 障がい者就労継続支援事業所との連携による施設見学や試行的利用の実施

- ・施設見学の実施（延べ 3 名）

(エ) 障がい者手帳取得や障害年金受給手続きの支援（今年度実績なし）

(オ) 卒業後の当事者に対する継続的な見守りの実施と相談対応

- ・本年度一般就労による卒業（1 名）、その他の理由による卒業（1 名）

- ・関係機関との「つなぐフォローアップ会議」の開催（４回）
- ・銀行への同行支援（１名）
- ・当事者からの相談受付（延べ２４名）

（４）つなぐ協力企業との連携強化

（ア）つなぐ協力企業ネットワーク会議の開催

【年 月 日】令和６年６月５日

【参 加 者】１０名

【参加企業】株式会社サンエイト

株式会社丸共

農事組合法人中国牧場

奥出雲やまなみファーム



（イ）つなぐ協力企業役職員へのサポーター研修受講推進

- ・つなぐサポーターフォローアップ研修会の開催

【年 月 日】令和６年１０月２９日

【参 加 者】８名（内企業サポーター３名）

【テ ー マ】「障がいがある方へのかかわり方」

講師：NPO 法人ふきのとう

相談支援専門員/村尾美由紀氏



８ 学校と社協の連携事業『むすぶ』

213,223 円

学校等と社協のつながりを強固なものとすることで、特別支援学級や不登校等の子供とその家族のニーズや課題の早期発見につなげ、誰もが地域で活躍できるまちづくりの推進に努めました。

（１）福祉教育の実施（令和６年度モデル指定校：横田中学校）

（ア）学校との協働による実践的な福祉教育の推進

- ・モデル指定校の担当教諭等との綿密な事前協議の実施

（イ）特別支援学級等の生徒を対象とした福祉教育プログラムの実施

プログラム	内容	活動 日数	延べ 人数
グラウンド・ゴルフ大会 の運営	大会運営、チラシ作成、豚汁調理	４	２１
つなぐ協力企業における 職業体験	サンエイト、丸共、中国牧場、仁 多興産、やまなみファーム、仁多 生コンでの職業見学と体験	３	９
地域住民との交流	グラウンド・ゴルフ大会での交流	３	１６

（２）学校や行政の取り組み等に関する調査研究

（ア）特別支援学級での教育に関する小中学校の取り組みと課題の調査

- ・モデル指定校の担当教諭等からの聴き取り調査の実施

（イ）不登校等の児童生徒に対する小中学校並びに教育委員会の取り組みと課題の調査

- ・モデル指定校の担当教諭等からの聴き取り調査の実施

(3) 保護者との連携と情報提供等

(ア)保護者に対する日常生活自立支援事業や成年後見制度等の情報提供

- ・権利擁護研修会の開催

【年月日】令和6年12月18日 【会場】カルチャープラザ仁多

【参加者】9名（内にこここ保護者の会から1名参加）

【テーマ】みんなで学ぶ成年後見制度 【講師】社会福祉士/落合孝行氏

(イ)保護者と児童生徒を中心に置いた支援の徹底並びにつながり続ける関係性の構築

- ・保護者とのネットワーク会議発足を目指した事前協議の実施



9 ひきこもり支援ステーション事業（町受託事業）

10,954,624 円

ひきこもり支援コーディネーターを設置し、ひきこもり状態にある本人や家族等の状況を踏まえた支援体制の構築に努めました。

(1) 相談支援事業(※必須事業)

(ア)ひきこもり相談所『みらい』の常設（相談件数 96 件）

(イ)パンフレットの作成と全戸配布の実施

(ウ)ひきこもり支援コーディネーター等による相談支援

- ・当事者との面談、電話、LINE 等による相談対応（延べ 221 回）
- ・当事者への対人援助（延べ 235 回）
- ・当事者家族との面談、電話、LINE 等による相談対応（延べ 116 回）

(エ)ひきこもり支援コーディネーター並びにひきこもりサポーターによる訪問活動

- ・該当世帯への訪問（延べ 79 回）

(2) 居場所づくり事業(※必須事業)

(ア)「フリースペースえん」の常設 (利用延べ人数 54 名)

(イ)企業と社協の連携事業『つなぐ』の活動参加 (※再掲)

企業・団体名	活動内容	活動 日数	活動 時間	延べ 人数
(株)サンエイト	トウガラシのヘタ取りほか	42	206	88
(株)丸共	リサイクル品の分別ほか	10	19.5	11
(農組)中国牧場	子牛の授乳ほか	12	26	13
仁多興産(有)	看板製作	0	0	0
やまなみファーム	馬・小動物の世話ほか	16	38.5	21
社協その他	すばーく仁多等施設清掃ほか	96	179	118
合計		176	469	251

(3) 連絡協議会・ネットワークづくり事業(※必須事業)

(ア)関係機関等との情報共有 (延べ 168 回)

- ・9 地区民生児童委員協議会定例会におけるひきもり当事者に関する情報交換の実施
- ・福祉事務所並びに障がい者就労継続支援事業所との連携による障がいがあるひきこもりの方に関する情報共有の実施
- ・こども家庭支援課並びに両中学校との連携による不登校生徒等に関する情報交換の実施

(イ)企業と社協の連携事業『つなぐ』との共催による「つなぐ協力企業ネットワーク会議」の開催 (※再掲)

【年 月 日】令和 6 年 6 月 5 日 【参加者】10 名

【参加企業】株式会社サンエイト、株式会社丸共、農事組合法人中国牧場、奥出雲やまなみファーム

【議 題】令和 5 年度活動報告並びに令和 6 年度活動計画

(ウ)対象者ごとの関係者会議の開催

【メンバー】保健師、障がい者相談支援専門員、障がい者相談支援員、臨床心理士、公認心理士、ひきこもりサポーター、民生児童委員、当事者、親族等

- ・支援チーム会議 (10 回)
- ・ステップアップ会議 (7 回)
- ・フォローアップ会議 (1 回)

(4) 当事者会・家族会開催事業(※任意事業)

(ア)当事者会の開催

- ・集いの場『エンジョイえん』での懇談 (毎月 1 回、延べ参加者数 36 名)

(イ)家族会の発足準備

- ・組織の在り方に関する協議検討

(5) 住民向け講演会・研修会開催事業(※任意事業)

(ア)一般住民を対象とした「ひきこもり研修会」の開催 (※今年度未実施)



(6) サポーター派遣・養成事業(※任意事業)

(ア)企業と社協の連携事業『つなぐ』へのひきこもりサポーターの派遣

・活動への派遣

企業・団体名	活動内容	活動 日数	活動 時間	延べ 人数
(株)サンエイト	トウガラシのへタ取りほか	42	206	62
(株)丸共	リサイクル品の分別ほか	10	19.5	16
(農組)中国牧場	子牛の授乳ほか	12	26	7
仁多興産(有)	看板製作	0	0	0
やまなみファーム	馬・小動物の世話ほか	16	38.5	24
社協その他	すばーく仁多等施設清掃ほか	96	179	142
合計		176	469	251

(イ)ひきこもりサポーターの養成研修会の開催

・サポータースキルアップ研修会の開催 (※再掲)

【年月日】令和6年10月29日 【参加者】8名

【議 題】令和5年度活動報告並びに令和6年度活動計画

【テーマ】「障がいがある方へのかかわり方」

講師：NPO 法人ふきのとう相談支援専門員/村尾美由紀氏

・ひきこもり支援研修会(主催：島根県立心と体の相談センター)への参加

【年月日】令和6年12月3日 【参加者】2名

【テーマ】「ひきこもりの子を持つ親の生活設計」

(7) 実態把握調査事業(※任意事業)

(ア)民生児童委員との地区別情報交換会における実態把握

・令和6年度末時点 対象者数64名 (※参考：令和5年度末74名)

(イ)ひきこもり支援コーディネーター等による実態把握

・実態調査で把握した世帯への訪問活動の実施(79回)

(8) 専門職の配置(※任意事業)

(ア)ひきこもり支援コーディネーターの配置 (職員1名)

(9) 多職種支援チームの設置(※その他事業)

(ア)対象者ごとの支援チーム会議の開催

【メンバー】保健師、障がい者相談支援専門員、障がい者相談支援員、臨床心理士、公認心理士、ひきこもりサポーター、民生児童委員、当事者、親族等

・支援チーム会議(10回)

・ステップアップ会議(7回)

・フォローアップ会議(1回)



10 介護予防普及啓発事業（町受託事業）

5,608,796 円

高齢者に対しきめ細やかなサービスを提供することにより、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図りました。

（1）地区別の「フレイル予防塾」の開催（各地区月1回）

地区	布勢	三成	亀嵩	阿井	三沢	鳥上	横田	八川	馬木	合計
会員数	16	16	16	17	19	20	21	14	26	165
延べ参加者数	148	160	140	183	198	168	218	157	206	1578

（ア）フレイル予防専門家による講義

月	テーマ	講師
4	フレイルってなんでしょう？	上級レクリエーションインストラクター
5	フレイル予防体操	島根リハビリテーション学院
6	フレイル予防ヘルシー＆簡単レシピ	管理栄養士
7	学生が考えたフレイル予防プログラム	島根リハビリテーション学院
8	交通安全と特殊詐欺	雲南警察署
9	予測ができない地震に備える！	明治安田生命
10	音楽で心も体もリフレッシュ！	音楽療法士
11	健康づくり～運動と栄養・骨～	介護予防指導士
12	手足を使った脳トレ	社協介護予防普及啓発指導員
1	歌って笑ってフレイル予防	生涯現役アドバイザー
2	猫背の予防とひざ痛予防	社協介護予防普及啓発指導員
3	脳トレ＆指ストレッチ	社協介護予防普及啓発指導員

（イ）介護予防普及啓発指導員による脳トレと軽スポーツ指導

- ・プリント、クイズ、間違い探し等の教材を使った脳トレ
- ・スカットボール、ボッチャ等の用具を使った軽スポーツ

（2）「男の生涯現役道場」の開催（月1回、男性限定会員23名、延べ参加者数151名）

（ア）フレイル予防専門家による講義等

月	参加者数	テーマ	講師
4	11	軽スポーツ大会	社協介護予防普及啓発指導員
5	17	五感で栄養を学ぼう！	管理栄養士
6	15	今から取り組む防災講座	明治安田生命
7	14	学生との交流スカットボール	島根リハビリテーション学院
8		※大雨により中止	
9	9	グラウンド・ゴルフ大会	社協介護予防普及啓発指導員
10	12	歌ってフレイル予防！	音楽療法士
11	11	健康づくり講演会	介護予防指導士
12	18	脳トレ＆軽スポーツ	社協介護予防普及啓発指導員
1	14	歌って笑ってフレイル予防	生涯現役アドバイザー

2	17	脳トレ & 昔の遊び	社協介護予防普及啓発指導員
3	14	軽スポーツ大会	社協介護予防普及啓発指導員

(3) 実習生の受入

(ア) 役場健康福祉課からの依頼による実習生受け入れ

- ・ 島根大学実習生（2名）男の生涯現役道場での実習受入（5月31日）
- ・ 島根医大実習生（2名）フレイル予防塾での実習受入（6月5日）

(4) 参加者の健康管理と事故防止の徹底

(ア) 参加者の健康管理

- ・ 体調不良による緊急搬送1名（3月19日）

(イ) 事故防止の徹底

- ・ 送迎車両のブレーキによる軽傷2名（4月18日）
- ・ 体操でバランスを崩したことによる転倒1名（3月17日）

11 高齢者等みまもりネットワーク事業（町受託事業）

4,880,913 円

在宅で生活する高齢者に対し、テレビ電話による支援ネットワークを通じた見守り体制を強化し、安心安全な生活を支援しました。

(1) コールセンターオペレーターによる定期的な見守りと関係機関との連携

(ア) 新システム「電子連絡帳」利用登録者数 146名

(イ) オペレーター2名による定期的な声掛けによる見守り

- ・ 苦情の受付と処理（※再掲）

【内 容】 高齢者等みまもりネットワーク事業(コールセンター)担当職員の対応について

【処 置】 苦情内容に関する全職員への周知並びに苦情解決に向けた全職員への対応指導

【報 告】 委託元である奥出雲町(福祉事務所)への報告並びに改善策協議の申入れ

(ウ) 福祉事務所、地域包括支援センター、民生児童委員等との情報共有と連携

(エ) 福祉サービスや特殊詐欺情報の提供

(2) 役場関係部署と連携したシステム管理

(ア) 総務課、福祉事務所等との連携によるシステム管理

- ・ 個人情報の漏洩（※再掲）

【内 容】 高齢者等みまもりネットワーク事業(コールセンター)における個人情報漏洩について

【原 因】 リスク管理指導の不徹底、当該職員のネット犯罪に関する知識の不足

【報 告】 委託元である奥出雲町(福祉事務所)への業務改善報告書の提出

【措 置】 再発防止に向けた取組

- ・ 全職員を対象とした「ネット犯罪に関する研修会」の開催
- ・ 委託元である奥出雲町(福祉事務所)へ改善策協議の申入れ

12 介護予防拠点施設管理事業（町受託事業）

1,305,540 円

高齢者が介護を要する状態にならないよう予防し、生きがいをもって生活を送れるよう支援する施設の管理運営を実施しました。

- (1) 介護予防を目的とした活動を実施する団体または周辺自治会等への施設貸出
 - ・会議室並びに研修室の貸出（延べ 105 団体、延べ利用者数 872 名）
- (2) 施設の維持管理
 - (ア)エレベーターの保守業務
 - ・遠隔点検(常時)、実地点検(3 カ月に 1 回)、定期検査(年 1 回)の実施
 - (イ)消防設備の保守業務
 - ・定期点検(年 2 回)の実施
- (3) 施設利用者との共同火災訓練の実施

13 生活困窮者支援等のための地域づくり事業（町受託事業）

5,895,822 円

地域住民相互の支え合いによる共助の取り組みの活性化を図りつつ、生活困窮者等と地域とのつながりを適切に確保し、地域全体で支えるしくみを構築するよう努めました。

- (1) 生活困窮等に関する相談支援
 - (ア)出張なんでも相談所等との連携による相談支援
 - ・出張なんでも相談所等との連携による相談支援（4 回開催、相談件数 6 件）
 - ・弁護士による無料相談所との連携による相談支援（2 回開催、相談件数 5 件）
 - ・職員による窓口相談、電話相談等による相談支援（常設、相談件数 180 件）
 - ・ひきこもり相談「みらい」との連携による相談支援（常設、相談件数 96 件）
 - (イ)関係機関等との連携による実態把握
 - ・民生児童委員との情報交換会の開催（9 地区×1 回）
 - (ウ)定期的な面談等による継続支援
 - ・当事者との電話または LINE 等による支援（延べ 83 回）
 - ・当事者との面談または訪問による支援（延べ 58 回）
 - ・当事者に対する同行支援（延べ 4 回）
 - ・当事者並びに関係機関等に対する制度の紹介（延べ 28 回）
 - ・関係機関等の連携による継続的な見守り（延べ 108 回）
 - ・「おたすけフード」の利用による見守り（延べ 33 件）
- (2) 地域サービスの創出
 - (ア)福祉振興協議会並びに地区振興会、小さな拠点づくり組織等との連携による地域サービスの創出
 - ・小さな拠点定例会への参加による地域サービス創出に関する協議の実施（4 回）
 - ・阿井地区福祉振興協議会並びに小さな拠点地域づくり委員会が実施する防災イベントでの意見交換の実施（参加者 60 名）
 - ・三沢地区福祉振興協議会並びに公民館との連携による福祉教育の実施（参加者 14 名）

- (イ)各種団体等との連携による実態把握と課題の見える化
 - ・老人クラブ、ボランティア団体、集いの場等における情報収集の実施
- (3) 地域における活動拠点の確保
 - (ア)当事者の活動拠点の確保 (※再掲)
 - ・フリースペース「えん」の利用促進 (延べ利用者数 54 人)
 - ・「エンジョイえん」の利用促進 (延べ利用者数 36 名)
 - (イ)支援者の活動拠点の確保
 - ・出張なんでも相談所の各地区での開設 (9 地区)
 - ・各地区民生児童委員定例会における情報交換の実施 (9 地区)
- (4) 生活困窮世帯に対する食糧等の配布
 - (ア)「おたすけフード」の配布 (※再掲)
 - ・おたすけフード基金 32,827 円による食料品の購入
 - ・生活困窮世帯に対するおたすけフード無償提供の実施 (延べ 33 世帯)
 - (イ)配布に併せた相談支援と継続的な見守りの実施
 - (ウ)社協広報誌、チラシ、SNS 等による周知
- (5) その他地域福祉の推進を図るための活動
 - (ア)政策企画課が実施する小さな拠点づくり事業との連携による生活困窮者等と地域のつながりづくり
 - (イ)重層的支援体制整備事業の全町実施に向けた多分野の横断的連携の推進

14 伴走型支援事業

13,657 円

ひきこもりや生活困窮等により社会的孤立感や生きづらさを感じている方に対し、課題解決型支援と並行してつながり続ける伴走型の支援を実施しました。

- (1) 適切な制度またはサービスを利用するための情報提供並び同行支援
 - (ア)広報誌、SNS 等による情報提供
 - (イ)役場窓口、関係機関等への同行支援
 - ・ハローワークへの同行支援 (延べ利用者数 1 名)
 - ・役場各課への同行支援 (延べ利用者数 6 名)
- (2) 社会的孤立等による生活上の困難への付き添い支援
 - (ア)通院、買い物、支払い手続き等への付き添い支援
 - ・銀行への同行支援 (延べ利用者数 1 名)

15 子育て世帯訪問支援事業 (町受託事業)

0 円

保護者に監護させることが不適當である児童の保護者、食事や生活習慣等について不適切な養育状態にある児童の保護者、また妊産婦やヤングケアラー等に対し、訪問支援員による家事支援や一時的な子供の保育等を実施しました。

- (1) 家事支援の実施 (利用決定者 2 名)
 - (ア)食事の準備等の炊事 (※今年度実績なし)

- (イ)洗濯や掃除 (※今年度実績なし)
- (ウ)買い物の代行 (※今年度実績なし)
- (2) 育児支援の実施 (利用決定者2名)
 - (ア)幼稚園等の送迎 (※今年度実績なし)
 - (イ)一時的な子供の保育 (※今年度実績なし)
 - (ウ)子育て支援施策の情報提供 (※今年度実績なし)
- (3) 訪問支援員等に対する研修の実施
 - (ア)知識の習得並びに支援の質の向上を図るための研修の実施
 - ・奥出雲町要保護児童対策地域協議会主催の研修会への参加(職員2名)
 - 【年月日】令和6年8月9日 【会場】奥出雲町役場仁多庁舎大会議室
 - 【テーマ】子ども虐待の視点と対応について
 - ～演習を通してより良い支援のポイントを整理する～
 - 【講師】奥出雲町要保護児童対策地域協議会スーパーバイザー/小村俊美氏
- (4) 定期的な見守り支援
 - (ア)利用世帯の定期的な見守りと継続的な支援
 - ・電話、LINE、対面等による相談支援 (延べ28回)
 - ・行政手続き等のための同行支援 (延べ2回)
 - ・「おたすけフード」の無償提供 (延べ7回)
 - (イ)関係機関の連携による利用世帯に関する情報共有等
 - ・ケース会議の開催 (延べ48回)
 - ・制度、サービス等の情報共有と利用検討 (延べ10回)

16 福祉サービス利用援助事業 (県社協受託事業)

4,697,394 円

認知症や障がいにより判断能力が不十分な方や、日常生活に不安のある方の権利を擁護することを目的に、福祉サービス利用援助等を行いました。

- (1) 福祉サービスの利用援助 (新規契約1名、解約3名、年度末利用者計2名)
 - (ア)福祉サービスを利用しまたは利用をやめるために必要な手続き
 - (イ)福祉サービスの利用料を支払う手続き
 - (ウ)福祉サービスについての苦情解決制度を利用する手続き
- (2) 日常的金銭管理サービス (新規契約1名、解約3名、年度末利用者計2名)
 - (ア)年金及び福祉手当の受領に必要な手続き
 - (イ)医療費を支払う手続き
 - (ウ)税金や社会保険、公共料金を支払う手続き
 - (エ)日用品等の代金を支払う手続き
 - (オ)ア～エの支払いに伴う預金の払い戻し等
- (3) 書類等の預かりサービス (新規契約1名、解約3名、年度末利用者計2名)
 - (ア)年金書類、預貯金の書類、保険証書、実印並びに銀行印等の預かり
- (4) 専門員・生活支援員による安否確認と見守り

(新規契約1名、解約3名、年度末利用者計2名)

- (ア)生活支援員の養成 (登録者 7 名、実働 5 名)
- (イ)定期的訪問による見守り (延べ 92 回、126 時間)
- (ウ)日常的な相談援助 (延べ 168 回)
- (5) 新規相談の受付と関係機関との連携
 - (ア)本人または家族からの相談受付 (6 件)
 - (イ)地域包括支援センター、福祉事務所等からの相談受付 (6 件)

17 法人後見事業

207,456 円

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など、意思決定が困難な方を法律的に保護し支援しました。

- (1) 被後見人の権利擁護
- (2) 法人後見運営委員会の開催 (年 2 回)
 - (ア)法定後見の受任及び辞任の申し立てに関する審査 (1 件)
 - (イ)成年被後見人等からの苦情申し立てに対する調査、調整及び審査 (0 件)
 - (ウ)本会からの諮問に対する答申 (0 件)
 - (エ)後見業務に対する監督、指導、助言 (2 件)
- (3) 成年後見制度に基づいた法人後見の実施
 - (ア)任意後見制度による支援 (受任件数 0 件)
 - ・新規相談受付 (0 件)
 - (イ)法定後見制度による支援 (受任件数 2 件)
 - ・担当職員(社会福祉士)による後見活動 (活動回数 47 回、延べ 49 時間)
 - 補助…判断能力が不十分な方 (1 名)
 - 補佐…判断能力が著しく不十分な方 (0 名)
 - 後見…判断能力が欠けているのが通常の状態の方 (1 名)

18 資金貸付事業

10,000 円

生活に困窮する世帯の自立更生を目的として、民生児童委員や福祉事務所と連携し、当該世帯に対する援助指導を行うとともに、応急的な生計の維持に必要な一時的資金(民生融金)の貸付を行いました。

- (1) 民生融金並びに緊急現金の貸付
 - (ア)民生融金の貸付 (新規貸付 0 件) 年度末貸付総数 1 件、総額 50,000 円
 - (イ)緊急現金の貸付 (新規貸付 1 件、貸付額 10,000 円) 年度末貸付総数 0 件、総額 0 円
- (2) 適切な援助と償還指導
 - (ア)担当職員並びに民生児童委員による当該世帯への定期的な訪問
 - (イ)電話による毎月の状況確認と償還指導
 - (ウ)借受人、連帯保証人、担当民生委員への定期通知の発送
- (3) 償還免除等審査会の開催(※本年度未実施)

19 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

371,480 円

低所得世帯や障がい者世帯、高齢者世帯等の経済的自立や生活意欲の助長促進などを図るため、低利または無利子で資金を貸し付けました。

- (1) 島根県社会福祉協議会との連携による各種生活福祉資金の貸付
 - (ア)総合支援資金（新規貸付 0 件）
 - (イ)教育支援資金（新規貸付 1 件、貸付額 4,680,000 円）
就学支度費（新規貸付 1 件、貸付額 301,000 円）
 - (ウ)不動産担保型生活資金（新規貸付 0 件）
 - (エ)臨時特例つなぎ資金（新規貸付 0 件）
- (2) 生活福祉資金貸付制度に関する相談（新規相談 28 件）
- (3) 新型コロナウイルス特例貸付の償還指導等
 - (ア)借受人に対する償還指導並びにフォローアップ（延べ 16 回）
 - (イ)償還猶予後免除手続き支援（1 回）

20 屋内ゲートボール場管理運営事業

1,070,654 円

生涯スポーツの振興をととして福祉の増進を図ることを目的に設置されたすばく仁多を適切に管理運営しました。

- (1) 予約受付並びに利用料の管理業務の委託（奥出雲多根自然博物館へ委託）
（延べ利用者数 1,957 名）
- (2) 競技場並びにクラブハウスの管理
 - (ア)消防設備の保守点検（年 2 回）
 - (イ)屋内競技場の電球交換
- (3) 本会企業と社協の連携事業『つなぐ』メンバーによる就労体験の実施（施設周辺整備）

21 グラウンド・ゴルフ場管理運営事業（株サンエイト受託事業）1,739,513 円

生涯スポーツの振興をととして福祉の増進を図ることを目的に、グリーンヒルさとうを適切に管理運営しました。

- (1) 利用者に関する業務
 - (ア)利用申込の受付と利用料の管理（延べ利用者数 3,599 名）
 - (イ)年会員の募集（年会員 41 名@5,000 円/年）
 - (ウ)新規会員の募集（1 名@4,000 円/年）
- (2) 大会の運営
 - (ア)社協会長杯つなぐグラウンド・ゴルフ大会の開催（全 8 回 延べ参加者数 716 名）
 - (イ)学校と社協の連携事業『むすぶ』のモデル校生徒による大会運営体験の実施
 - (ウ)株式会社サンエイト並びに亀嵩温泉玉峰山荘からの賞品提供による後援
- (3) 企業と社協の連携事業『つなぐ』のメンバーによる就労体験の実施（コース整備等）

